

西郷隆盛：鹿児島英雄

西郷隆盛（1828-1877）は、日本史上最も影響力のある武士の1人である。彼は徳川幕府の転覆と皇室の復活を助け、1868年の明治維新の幕開けとなった。西郷隆盛は、武士の美德と強さの象徴として日本中で愛されており、特に生まれ故郷の鹿児島では「せごどん」の愛称で親しまれている。

せごどんは指宿で多くの時間を過ごした。せごどんは、うなぎ温泉（うなぎ池近くの温泉郷）によく滞在した。彼が好んだ宿の近くには、地元の山川石で彫られたせごどんと狩猟犬の像が立

っている。指宿の中心部にある郷土資料館「薩摩伝承館」には、せごどんの腕時計や有名な合戦の錦絵など、せごどんゆかりの品が数多く展示されている。彼が好んだ狩猟地である開聞岳では、ハイキングを楽しむ人々が、かの有名な西郷の足跡をたどることができる。

指宿を訪れると、せごどんのふさふさした眉毛や屈強な力士の体格を、威厳のあるブロンズ像から漫画のようなキーホルダーまで、さまざまな形で目にすることができる。鹿児島の郷土愛と誇りの表れである。